

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

第二回 文理科学科 土曜講座

文理科学科・土曜講座が開講しました。土曜講座では各教科の特別授業を行ったり、外部から大学の先生をお呼びして講演をしていただいたりします。

観察力・技術力の養い方など、高校生でやっておくべきことを講義していただきました。

講義の後、土佐先生から次の4つの課題を与えられました。

- 農薬問題
- 食料自給問題
- 遺伝子組み換え作物の問題
- 環境ホルモンの問題

第一回目の土曜講座は「**大学における研究と創造―農学の視点から**」というテーマで、神戸大学農学研究科教授の土佐幸雄先生に講演をしていただきました。講演内容

は、農薬問題を始めとする農業に関する様々なことから、基礎学力の大切さや

これらの課題は生徒たちが「みらい学Ⅰ」の授業を利用して、調査・研究し発表します。自分たちの考えをまとめ、他の人に「どのようにして」調べたことを伝えられるかのプレゼンテーションを5月に行います。



授業風景

文理科学科の授業では様々な取り組みが行われています。文理科学科担任で、数学の授業を担当している福井英樹先生は、教科書以外にも副読本 精説高校数学シリーズを併用してレベルの高い授業を行います。

また授業の始めに、加藤校長から生徒へ「激励の言葉」が贈られました。



加藤校長 激励の言葉

高校時代は**可能性**の時代です。
 「可能性」については、「選択」の可能性、「能力」の可能性がります。君たちにはどちらも有ります。
 「選択」の可能性については、自分の努力のみで進路を決定できます。東大へ行きたいと思えば君たちの努力のみで可能なのです。
 「能力」の可能性については、希望進路の実現に向けて明確な目標を持ち日々努力し「未見の我」を発見してください。
 目標を決めたら今何をすべきかを考えていきます。例えば東大に行きたいと思えば、この時期に何をすべきかを考えて努力するだけです。これについては、本校の先生を大いに利用して下さい。君たちの能力ならば日本のどの大学でも入れます。ぜひチャレンジする気持ちを忘れずに果敢に挑戦してください。



編集後記

文理科学科の新入生は、土曜講座で大学生の気分を味わうことができました。文理科学科通信」は月に2回の発行を予定しています。